

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

# PTX weekly+Pertuzumab +[BS]Trastuzumab 療法

3 週毎      コース予定

疾患名    乳癌

主治医                  指導医                  HBs 抗原( + - )    HBc 抗体( + - )    HCV 抗体( + - )

スケジュール

		day1	day8	day15
パージェタ(ペルツズマブ)	【初回投与】 840 mg/body	↓		
	【2 回目以降】 420 mg/body			
トラスツズマブ BS	【初回投与】 8 mg/kg	↓		
	【2 回目以降】 6 mg/kg			
パクリタキセル	80 mg/m <sup>2</sup>	↓	↓	↓

【注意】\* トラスツズマブは投与予定日より 1 週間を越えた後に投与する際、改めて初回投与量の 8 mg/kg で投与を行う。なお、次回以降は 6 mg/kg を 3 週間間隔で投与する。

- \* トラスツズマブは初回投与時 90 分以上かけて、初回投与の忍容性が良好であれば、2 回目以降(トラスツズマブ既接種者も含めて)の投与時間は 30 分間まで短縮できる。
- \* ペルツズマブは投与予定日より 3 週間以上後(前回投与日から 6 週間以上後)に投与する際、改めて初回投与量の 840 mg で投与を行う。なお、次回以降は 420 mg を 3 週間間隔で投与する。
- \* ペルツズマブは初回投与時 60 分かけて、初回投与の忍容性が良好であれば、2 回目以降の投与時間は 30 分間まで短縮できる。
- \* パクリタキセルはインラインフィルター(0.2 又は 0.22 ミクロン)を使用し、DHEP フリー点滴セットを使用すること
- \* アルコール過敏    有 ・ 無

☆通常量より減量する際の理由☆

(レジメン)

day 1

- ① 生食 500 mL で血管確保 維持 (20 mL/時間)
- ② パーージェタ + 生食 250 mL 点滴静注
  - ① 【840 mg 投与時】 60 分以上
  - ② 【420 mg 投与時】 30 分以上
- ③ トラスツズマブ BS + 生食 250 mL 点滴静注
  - ① 【8 mg/kg 投与時 : mg】 90 分以上
  - ② 【6 mg/kg 投与時 : mg】 30 分以上
- ④ レスタミン 10 mg 5 錠 内服
- ⑤ ファモチジン注 20 mg 側管静注
- ⑥ デキサメタゾン注 6.6 mg (2 mL) + 生食 20 mL 側管静注
- ☆ 30 分後より
- ⑦ パクリタキセル + 5%糖液 250 mL 点滴静注 60 分
- ◎ 終了後メインの生食でルート内フラッシュ

day 8,15

- ① 生食 500 mL で血管確保 維持 (20 mL/時間)
- ② レスタミン 10 mg 5 錠 内服
- ③ ファモチジン注 20 mg 側管静注
- ④ デキサメタゾン注 6.6 mg (2 mL) + 生食 20 mL 側管静注
- ☆ 30 分後より
- ⑤ パクリタキセル + 5%糖液 250 mL 点滴静注 60 分
- ◎ 終了後メインの生食でルート内フラッシュ

PTX weekly+Pertuzumab+【BS】Trastuzumab 療法

	コース			コース			コース		
	day 1	day 8	day15	day 1	day 8	day15	day 1	day 8	day15
投与日	/	/	/	/	/	/	/	/	/
パージェタ 開始時刻	↓			↓			↓		
トラスツマブ BS 開始時刻	↓			↓			↓		
パクリタキセル 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確認									

	コース			コース			コース		
	day 1	day 8	day15	day 1	day 8	day15	day 1	day 8	day15
投与日	/	/	/	/	/	/	/	/	/
パージェタ 開始時刻	↓			↓			↓		
トラスツマブ BS 開始時刻	↓			↓			↓		
パクリタキセル 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確認									

	コース			コース			コース		
	day 1	day 8	day15	day 1	day 8	day15	day 1	day 8	day15
投与日	/	/	/	/	/	/	/	/	/
パージェタ 開始時刻	↓			↓			↓		
トラスツマブ BS 開始時刻	↓			↓			↓		
パクリタキセル 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確認									